

生産現場改革・改善力強化セミナー

「本物の5S」と 「見える化」による 現場改革・改善の実践展開法



～「本物の5S」が組織と現場をつくる～

◇生産現場ではコミュニケーションの低下により、従業員同士のつながりが希薄になり、結果として企業の組織力や業務の品質が低下しています。また、熟練工の退職に加え、非正規社員や新入社員の増加が現場の対応力を弱め、ムダの発生やクレームの頻発につながる可能性があります。

◇このような危機を乗り越えるためには、全員参加運動によって現状を打破することが必要であり、そのためには、「本物の5S」と「見える化」を導入・徹底活用して、「人材育成」「組織力・現場力の強化」「品質の向上」「7つのムダとり」等による現場改革に取り組むことが必要です。

◇本セミナーでは「本物の5S」「見える化」のこれまでの進め方に加え、新たな展開、さらに継続した活動につなげる実践法を、講師の指導実績に基づく事例やフォーマット並びに講師の著書「5S導入ハンドブック」を使用しながら、わかり易く、また明日から即実践できるように解説いたします。

◆ 日 時 2025年 9月25日 (木) 10:00～17:00

◆ 会 場 電気ビル共創館 3階カンファレンス 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

◆ 講 師 西澤技術士事務所 所長 西 澤 和 夫 氏

◆ 対 象

- ・ 5S活動の定着・活性化に腐心されている方及びこれから取り組みになる企業の方
- ・ 製造・生産部門の管理者、監督者、担当者
- ・ 生産現場のリーダー、改善リーダー

◆ 参加費(お1人につき、税込)

九州生産性本部・九州IE協会の会員企業	30,800円
未会員企業	42,900円

◆ 申込方法等

- web上の参加申込フォームに必要事項をご入力の上、お申込み下さい。
- webにて申込後、「請求書」を出力し、開催前日までにご納入をお願いします。(振込手数料は振込入にてご負担ください。)
- お申込後、お申込の方に万一お差し支えの時は代理の方のご参加をお願いいたします。ご購入いただきました参加費は原則としてお返しいたしかねます。
※キャンセル料につきましては、当本部のホームページでご確認ください。
- 同業の方のご参加、プログラム転用はご遠慮ください。
- その他詳細につきましては、九州生産性 本物の5Sと見える化 で検索ください。

主催 公益財団法人 九州生産性本部

後援 九州IE協会

I 企業競争に生き残るために「本物の5S」の新たな展開が必要だ!

- ①いま「本物の5S」の新たな展開の必要性が高まっている
- ②「本物の5S」の基本目的と3原則・行動ルール
- ③「本物の5S」で企業風土を再構築して一体感を醸成
- ④生産現場の3礼で作業のPDCAを回し快善を実践する
- ⑤「本物の5S」の定義とは何か
- ⑥新たな時代に生き残るためには「躰(しつけ)」が必要

II 「本物の5S」と「見える化」の段階別導入・定着の進め方

- ①「本物の5S」と「見える化」導入の基本プログラムと準備事項
- ②「本物の5S」の効果的な導入・定着の進め方
～「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰(しつけ)」の個別ステップの進め方～

【フォーマット】「5S導入基本プログラム」「整理基準表」

- ③「本物の5S」の導入から定着への成功事例紹介
・夜店方式から直角方式へ改革し探すムダをなくす
・「あ・じ・か・げん」の活用で「人づくり」を徹底する

III オフィス改革への「本物の5S」と「見える化」の導入法

- ①ワンベストとシングルファイリングでオフィスを「見える化」する
- ②オフィスワークを標準化し、人づくりに展開する
- ③フリーデスクの導入で進化する職場体質をつくる

IV 「本物の5S」と「見える化」による快善力強化の実践法

- ①「本物の5S」にはモノづくり企業を改革するパワーがある!
- ②「本物の5S」から快善活動に展開する
～「5S点検とチェックリスト」と「5S実践計画表」の活用法～

【フォーマット】「5S点検チェックリスト」

- ③「5S快善展開表」から「5S実施計画表」への展開法
【フォーマット】「5S快善展開表」「5S実施計画表」

V 「本物の5S」の停滞・マンネリ化を防ぐ有効な対策とは

- ①「本物の5S」が停滞・マンネリ化した職場の問題点とは何か
- ②なぜ「本物の5S」が定着せずにマンネリ化するのか?
- ③「本物の5S」の停滞・マンネリ化を打破する具体的な対策はこれだ!
～「5S停滞を打破する快善対策一覧表」と「5S快善チェックリスト」の活用法～

【フォーマット】「快善対策一覧表」「5S快善チェックリスト」

VI 「見える化」で職場の問題解決力のスピードアップ

- ①「本物の5S」から「見える化」への実践展開法
- ②「見える化」は「本物の5S」からはじめ、工程管理に展開せよ

VII 「本物の5S」と「見える化」による「ムダとり」への実践展開法

- ①「本物の5S」活用の「7つのムダ取り」で生産現場から利益を生み出せ
「置き置き」のムダ取り 「レイアウト」のムダ取り
「運搬」のムダ取り 「手持ち」のムダ取り
「品物を探す」ムダ取り 「作業中断」のムダ取り
「検査」のムダ取り

VIII 「本物の5S」と「見える化」の更なる展開

～快善力強化と儲かる工場づくりを目指す～

講師の著書
「5S導入ハンドブック」
(かんき出版)を
サブテキストに
使用いたします。
(当日配布)



講師紹介

西澤技術士事務所 所長 西澤和夫氏

三井造船(株)に入社し、産業機械や建設鉱山機械の開発・設計に従事する。その後米国系大手産業機械メーカーに勤務し、新製品開発・マーケティング・生産管理・品質保証・生産技術・技術サービスなどを担当し、国内海外の多数の取引企業の技術・品質指導等に携わる。その後、大手コンサルティングファームにてチーフコンサルタントとして5S、見える化・新製品開発・品質保証・生産改善・生産革新、管理・監督者育成、問題解決技法の導入など豊富なコンサルティング指導実績を持つ。2001年西澤技術士事務所を設立。

資格 技術士(経営工学)、中小企業診断士、経営士、品質管理学会正会員

著書 「5S導入ハンドブック」「工場長と生産スタッフのための!生産現場改革」「儲かる生産現場強化マニュアル」「生産現場が変わる!リーダー力強化ハンドブック」「生産管理ハンドブック」「現場で役立つQC工程表と作業標準書」など

【お問合せ先】 公益財団法人 九州生産性本部 鳥取部(とっとりべ) (No340)
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階
TEL/092-771-6481 FAX/092-771-6490

<https://qpc.or.jp/>